

平成 23 年 11 月 1 日

東京都市大学付属各校の放射線量等の測定結果について

3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う津波により事故が発生した福島第一原子力発電所からの放射性物質の拡散に対し、東京都が実施している測定値を補完するため、五島育英会では東京都市大学原子力研究所に依頼し、7月2日（土）にグループ内の高等学校以下各校において放射線量等の測定を実施いたしました。

続いて10月15日（土）に、2回目の測定を実施し、前回測定から約3ヶ月後の放射線量等の数値の変動を確認いたしました。

放射線量の数値は、前回の測定結果に比較し全体的に減少傾向にあり、自然放射線量の変動範囲内でした。水道水で検出された放射能も同様に特別なものは検出されませんでした。土壌の放射能分析結果からは、前回に続き福島第一原子力発電所の事故に由来する放射能がごく微量検出されましたが、放射線量への影響は上記の通りで、多くは元々自然界に存在する放射線量の変動範囲内でした。なお、雨水等の集まる側溝や雨樋の排水口では、一部で若干の数値の上昇が見られましたが、学校生活に影響を与えるような数値ではないことが確認されました。

因みに、福島第一原子力発電所の事故以前での自然界（宇宙線および大地放射線）からの放射線の被ばく量は、全国平均で0.07 μ Sv/hという数値となっています。

本法人では第2回目の放射線量の測定結果からも、グループ内の各校におきましては通常の教育活動の実施に問題はないと判断し、安心して学校生活を送ることが出来る環境にあることをここにご報告いたします。

今後も細心の注意を払いながら東京都市大学原子力研究所の協力のもとに、放射線量等の状況変化を見守ってまいります。

実施年月日	平成 23 年 7 月 2 日（土）、平成 23 年 10 月 15 日（土）	
測定器	放射線量率測定	NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ TCS-171B（アロカ社製） 測定器 S/N：R08106 校正年月日：2011 年 9 月 13 日
	土壌及び水道水の放射能濃度測定	ゲルマニウム半導体検出器（GEM-20190） 検出器 S/N：26-P1742B

東京都市大学附属小学校の測定結果

住所	世田谷区成城1-12-1
----	--------------

(1)放射線量率測定

測定日時		平成23年10月15日14時30分～15時20分			
測定場所	表面	放射線量率 (μSv/h)			
		5cm(表面)	50cm	100cm	
坂下の塀際(バス道路付近)	アスファルト	0.09	0.08	0.07	
バス停(渋谷行き)		0.07	0.07	0.06	
バス停(渋谷行き)後方の草むら		0.09			
落ち葉清掃 予定の区道 の中央付近		0.10			
		奥	0.09		
グラウンド	中央	0.06	0.05	0.05	
	砂場	0.06	0.06	0.07	
	遊具周辺	0.07	0.06	0.06	
	雲ていの下	0.05	0.05	0.05	
	ジャングルジムの下	0.06	0.06	0.06	
	ジャングルジムの下の水溜り	0.08	0.06	0.06	
	側溝(雲てい横)	0.11	(水の箇所)		
側溝(雲てい横)	0.14	(ヘド口の箇所)			
ミニレッスン菜園(階段上付近)	土	0.05	0.06	0.06	
屋上菜園		入口より1/3の付近	0.05	0.05	0.05
		ドレン	0.10		
屋上テラス	とよ	0.16			
	中央	0.08			
	排水口	0.10			
	壁	0.08			
校長室		0.05			

(2)土壌及び水道水の放射能濃度測定

項目	測定場所	採取箇所	10月15日測定結果	
			採取量	放射線量率 (μSv/h)
土壌	ミニレッスン菜園(階段上付近)	地表面	約58g	0.07
		地表下 0~5cm	約66g	0.07
	屋上菜園	地表面	約53g	0.07
		地表下 0~5cm	約58g	0.07
水道水	水飲み場		500ml	不検出